

春日部市在宅サービス多職種連絡協議会 (春宅会)

春宅会協議内容 (令和4年8月～令和5年2月)

- ・春日部市医療介護職連携研修・交流会の企画、開催、報告
- ・春日部市在宅緩和ケア連携推進部会について
- ・春こい・らいん2022年度上半期報告
- ・令和4年度春日部市健康フェアでの市民向け啓発活動の開催、報告
- ・春進センター通信の企画
- ・令和5年度春日部市在宅療養支援ベッドの運営について
- ・各団体からの連絡、提案及び活動報告

健康フェア2022～すべての世代に明るく健康な未来を～

令和4年12月3日(土)、4日(日) 開催時間:10:00～15:00

会場:春日部市保健センター「ふれあいキューブ6階」

見て、触れて、体験して！ 自分自身の健康について学びましょう！

春日部医師会・春日部市在宅サービス多職種連絡協議会主催イベント 12月3日(土)10:00～15:00

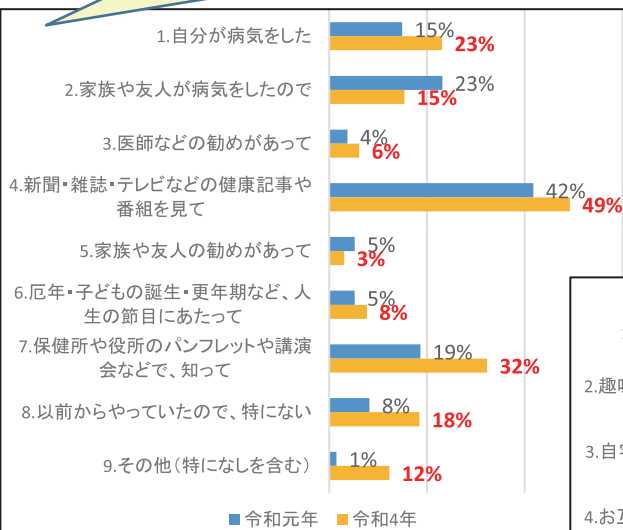
- 10:00～15:00 血圧測定、筋力・体脂肪測定と医療介護相談
(測定結果から知る運動機能低下を防ぐ理学療法士による個別指導)
- 14:00～15:00 自宅でいきいきと暮らす講座
「運動器(関節や骨、筋肉)の疾患予防について」～移動能力の低下を防ぐ～
講師:春日部厚生病院 理学療法士 城 真介氏



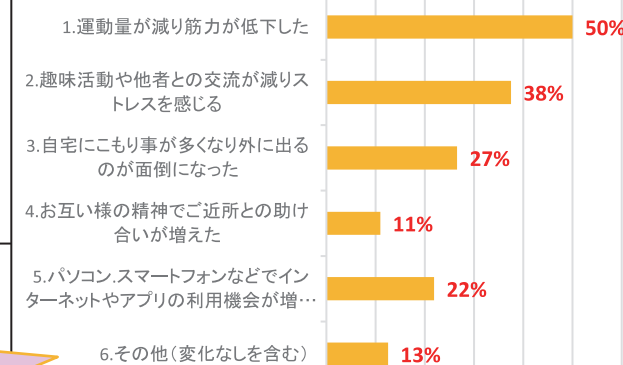
自宅でいきいきと暮らす講座が
ためになる！そして分かりやすい！

結果良し！
運動や食事習慣も
改善したわ。

健康に気をつけるようになった きっかけは何ですか？(複数回答)



コロナ禍で生活面や心身の変化で
気がついたことはありますか？
(複数回答)



春しん

2023年(令和5年)
第12号誌
令和5年3月発行

【発行元】
☆春日部市地域包括
ケアシステム
推進センター
(春進センター)

☆春日部市在宅
サービス多職種
連絡協議会
(春宅会)



第18回春日部市医療介護職連携研修・交流会(春コン)

令和5年2月20日(月)14:00～公開 YouTube配信

『わかる緩和ケアと地域連携』
～地域にお世話になる前の病院物語 春日部市立医療センター 編～
講師/春日部市立医療センター 副院長 蜂矢隆彦

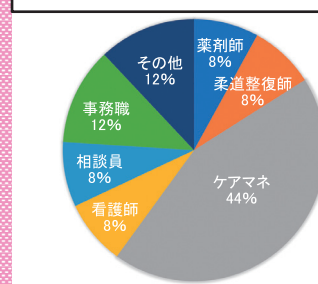


告知から治療、在宅生活へ繋ぎ、生活していくまでの実写により、緩和ケアやそれを支えるネットワークについてとても理解が深められました。また好演と、とてもよく練られたシナリオやテロップが印象的で、前向きに緩和ケアケース支援や連携に参画したいと思えました。通常の業務をこなしながら、これだけの事をご準備頂いて、研修機会をもらった事に頭が下がります。とてもよくできた実写や事前講義の内容は、情報への入口として、今回参加していない方の目にも触れる機会があればと感じました。(居宅/CM)



ケアマネをしています。ケアマネに相談が来るまでの流れがよく理解できました。ケアマネとして、患者様が在宅に戻られてからはご本人・家族を中心に生活を支える為の支援をおこない、医療職の方々と適切な連携を図りたいと思います。病院内で行われている、暖かなサポートに胸が熱くなりました。(居宅/CM)

今まで緩和ケア研修に参加経験がなかった人 (職種別割合)



オンラインは大変参加しやすいので、今後も継続して欲しいです。(病院/医師)

出演者皆様の思いが
伝わってきます！
実践からのリアリティー！

良かった。三宅先生の
演技がリアル過ぎて涙
出そうになった。
(歯科診療所/歯科医師)

流れがとても具体的で、心の変化も想像出来る内容で分かりやすかった(病院/社会福祉士)



私は薬局内で在宅業務は担当しておりませんが、ぜひ色々な事を勉強させていただきたいです。グループディスカッションの方は実際に在宅を担当している薬剤師が参加させていただくことが多いのですが、こういったYou Tube 配信もあると、今は在宅を担当していなくても参加できるのでとても助かります。(薬局/薬剤師)



研修Q&A

Q) 病院物語では、患者に対してガン治療は出来ないと告げて退院し、在宅となる事への患者の受入れがスムーズに行われるのでしょうか、要するに死を受け入れることになるので、ドクターや患者の精神的な負担大と思いました。(居宅/CM)

A) <蜂矢先生より回答>

患者の受け入れはスムーズに行きませんが、初診の時から先を読んで、患者が受け入れてQOLの高い生活が出来るよう支援するべきです。医療者の負担は大きいですが、これが医療者の仕事です。患者も一時的に負担は大きいですが、真実を伝えずに診療をすることは、現代社会では事実上できません。

春進センターから 新しいスタッフのご紹介



春進センターに勤務しております
ケアマネジャー:藤吉(ふじよし)
と申します。
春進センター共々、どうぞ宜しくお願いいたします。



グッドボタン
チャンネル登録
を宜しくお願い
します！

第17回 春日部市医療介護職連携研修・交流会(春コン)

令和4年10月14日(金) 19:30～開催

東部地域振興ふれあい拠点施設「ふれあいキューブ」

テーマ:【入退院連携を考えよう】グループディスカッション 参加者116名

春日部保健所長
田中良明様

春日部市医師会
会長 中村靖史様

春日部市長
岩谷一弘様

春日部市在宅サービス
多職種連絡協議会
会長 竹田広樹様

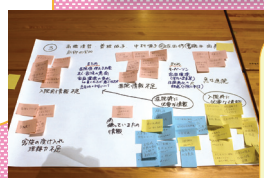
春日部市在宅サービス
多職種連絡協議会
副会長 遠藤賢様



3グループ 発表

【在宅へ退院時に必要な情報とは】

- ・退院後使えるお金
- ・本人家族の意向
- ・家庭環境の変化
- ➡良かったのか？悪くなったのか？
- ・急変時の対応について
- 【在宅から入院時に必要な情報とは】
- ・キーパーソン
- ・家庭環境(室内写真等)
- ・体調悪化時の経過(入院に至る)



顔の見える関係が
大事！
「今日、今、ここから
繋がった！！」

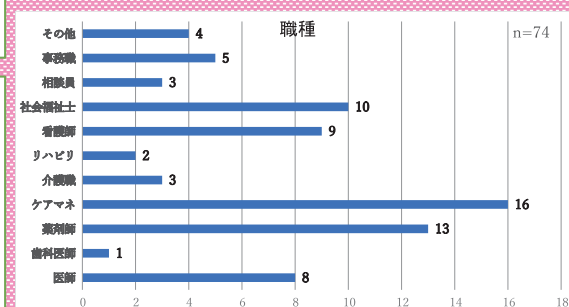
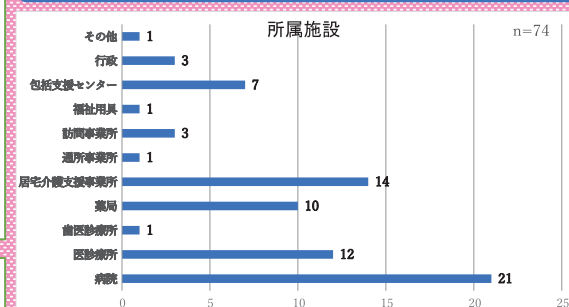
19グループ 発表

- ・入院前の課題 ACPIについて盛り上がった。入院前よりも退院後について必要。本人の気持ちに寄り添い、意向に従った関わり、多職種で共有していく。経済状況等すべてに共通している情報共有。



アンケート結果

第17回春コン参加者所属施設と職種



各職の御意見や考え方を聞いて良かったです。本日出会った多職種の皆様とこれからも仲良く協力していきたいと思っています。

医師を含めどの職種も必要な情報について過不足を感じていて共通の書式を必要としている事がわかった。もっと時間があれば、議論が深まったかもしれません。とてもいい会でした。

病院Dr、開業Dr、在宅診療sw、事務と医療職が多く勉強になった。一口に病院と言っても、機能によって困りごとがあるのだなと思った。グループディスカッションでACPIについて話題となったが、終末期ではなくてもご本人の意向、希望を聞くことは必要だと思う。ACPIについて本人にどのように問いかけ気持ちを聞き出すか、みなさんの意見をもう少し聞きたかった。

対面方式は顔が見えて良かったが、時間的に参加が難しい人もいたのでオンライン・YouTube方式でも行ってもらえればと思います。

現職に入職して1年、なかなか対面研修がない中、ようやく願いがかないました。いつも電話だけのやりとりの方に初めてお会いできました。顔の見える関係があるからこそ、率直に言い合えることがあると思います。今後も対面研修ができることを願います。感染対策が徹底されていて、安心して参加できました。ありがとうございました。

薬局に勤務していると、多職種の業務内容や課題を知ることが少なかったため、知見が広がった。

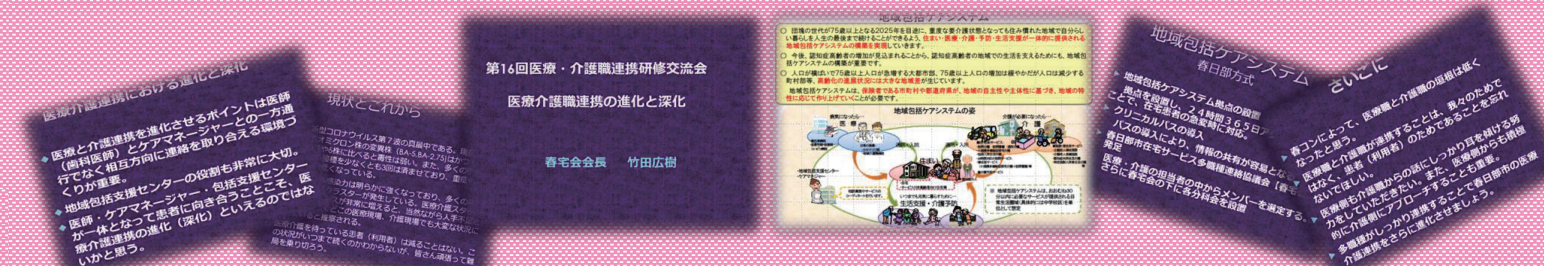
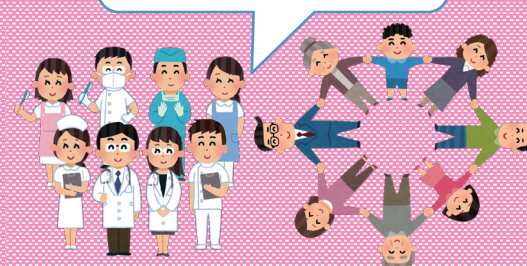
熱心な方々が集まっている会だと感じました。様々なお話を聞くことができました。ありがとうございました。久しぶりの対面でとても楽しいディスカッションでした。来年度はもう少し長くやってほしい。

第16回 春日部市医療介護職連携研修・交流会(春コン)

テーマ:「春日部市における医療介護連携の進化と深化」

講師/春日部市在宅サービス多職種連絡協議会 会長 竹田広樹
令和4年8月24日(水)14:00～ YouTube配信

さあ！
連携の輪に入ろう！



皆さんからのコメント

- ・竹田先生の講演で、地域包括ケアシステムの成功させるポイントは医療、介護が患者の方向を共有し医療、介護が双方でアプローチすることが重要とのこと、十分納得した。(施設事業所/事務職)
- ・医療介護職連携はとても必要と感じています。ですが、まだまだ敷居は高く感じてしまうのが現状です。忙しくされている医師にどう相談したらよいか？利用者が通院するときに同席する様にしていますが、それ以外の時はどうしたら良いかわからない。医師とケアマネが簡単に連絡・相談できるツールが必要だと思います。(課題に挙げられたICTの活用でしょうか？)医師からこんなふうに連絡してほしい。というのがあったら是非教えて欲しいと思います。(居宅介護支援事業所/ケアマネ)
- ・国の施策などから紐解かれ、どのような形で春日部市で地域包括ケアシステムが出来上がっていったのか、専門職・団体と行政の密な連携で現在の形へ成長したことがとてもよく分かりました。課題についても分かりやすく説明下さり私たちも同じ気持ちで活動していきたいと思いました。(医療所/医師)
- ・地域包括ケアシステムの構築の経過と取組み、目的がよくわかりました。多職種での情報共有の重要性和行政の理解・協力の必要性がわかった。コロナウィルスによって、ケアカンファレンスなど開きにくい状況となってしまっているが、ケアマネを中心として相互に連絡を取り合い、情報の共有を行っていききたい。(通所事業所/介護職)
- ・医療と介護連携には相互方向への連絡をとれる環境づくりを構築してこれたのも春コンの継続があったからと感謝しております。最近では訪問診療の意思の方も増え情報もSNS等を利用して共有させて頂いています。もっと普及し診療医の先生方のご指導やご意見を看護介護等で共有して在宅支援ができることを希望します。(訪問事業所/看護師)
- ・在宅療養中の利用者様が体調不良となった場合、特に時間外、新型コロナ感染症の流行に伴い受診可能な医療機関が少なく、診察可能な医療施設を探すか翌日まで様子を見るかで迷うことが何度もありました。後方支援ベツがあることは知っていましたが、だれでも利用できるわけではなく、なかなか難しい印象です。春コンに参加することは、たくさんの良い方法(システム)を知ることができ、仕事をするうえでとても役に立っています。知っているということは利用者様にとっても助かることであり信頼関係の構築にもつながります。あと、ケアマネと医療職との連携は課題が多いと私も常々感じています。(訪問事業所/看護師)
- ・オンラインにすることによってスムーズで良いと思います。この先オンラインにしていくのであれば講義、研修内容を市民の方々にも閲覧出来る様な取り組みも良いのではないかと思います。(薬局/薬剤師)
- ・コロナ禍の影響でいろんなことがオンライン化されて便利ではありますが、本来の形態で春コンが運営されて、その場で意見交換できるのが理想だと思います。(通所事業所/介護職)